

第1章 調査の概要

- 1 調査の目的
- 2 調査設計
- 3 回収状況
- 4 調査結果の表示方法及び留意事項

1 調査の目的

障害者が住み慣れた地域で自分らしく生活をしていくためには、障害者のニーズを反映したサービスの提供、行政、事業所等の連携などが重要な点となります。

法令が定める障害者に関する計画として、障害者基本法に基づく障害者福祉計画、障害者総合支援法に基づく障害福祉計画、児童福祉法に基づく障害児福祉計画があります。障害者福祉計画は、各種障害福祉施策の展開に関する根本的な計画となり、障害福祉計画及び障害児福祉計画は、各障害福祉サービスの確保目標、提供体制等に関する整備計画です。

本市では、令和7年度からスタートする第6期秦野市障害者福祉計画の策定に向けて、市内のお住いの障害福祉サービスを利用する障害児者や市内で同サービスを提供している法人、事業所等を対象に障害者が住み慣れた地域で暮らしていくためのニーズや課題を把握するために調査を行いました。

2. 調査設計

(1) 障害福祉サービス利用実態調査

ア 対象者

主たる障害	調査人数
1 身体障害	125人
2 知的障害	125人
3 精神障害	125人
4 児童（障害児）※18歳未満	125人
合計	500人

市内在住の障害者福祉サービス受給者（令和5年1月1日現在）
のうち500人を無作為抽出

イ 調査方法

郵便による配布・郵便による回収

ウ 調査期間

令和6年1月9日～令和6年1月26日

エ 調査内容

調査内容	設問数
1 自身について	6問
2 生活状況について	17問
3 訪問系サービスについて	3問
4 日中活動系サービスについて	3問
5 サービス等利用計画について	2問
6 成年後見について	3問
7 その他	1問
8 自由記述	1問
合計	36問

(2) 障害福祉サービス提供実態調査

ア 対象者

市内の障害福祉サービス事業所である80事業所を対象

イ 調査方法

メールによる配布・FAX またはメールによる回収

ウ 調査期間

令和6年1月9日～令和6年1月26日

エ 調査内容

調査内容	設問数
1 運営状況について	10問
2 事業展開の現状と課題について	5問
3 地域生活支援への取組について	4問
4 成年後見について	4問
5 その他	2問
6 自由記述	1問
合計	26問

3. 回収状況

(1) 障害福祉サービス利用実態調査

障害種別	配布数	回収数	回収率
身体障害	125	65	52.0%
知的障害	125	101	80.8%
精神障害	125	77	61.6%
児童（障害児）※18歳未満	125	49	39.2%
合計	500	292	58.4%

※手帳を所持している場合は、主たる障害種別で集計

※手帳を所持していない18歳以上の発達障害者については、「精神障害」に含めて集計

※手帳を所持していない高次機能障害者は、「精神障害」に含めて集計

(2) 障害福祉サービス提供実態調査

配布数	回収数	回収率
80	55	68.8%

4. 調査結果の表示方法及び留意事項

(1) 横断的事項

ア 表やグラフ中において、一部、百分率(%)で表示していますが、小数点第2位を四捨五入しています。また、四捨五入後、選択肢間で同等の値の場合は按分し、可能な限り合計が100%となるよう処理していますが、按分が出来ない場合は、合計が100%にならないことがあります。

イ 「その他」等の自由記載に関する設問について、原則、利用者や事業所からご記載いただきました内容をそのまま記載しています。

ただし、不適切と思われる表現については削除、特定の個人や民間の事業所の利益や不利益につながるような記載につきまは、特定できないよう「事業所」の表記などに置換えています。

(2) 障害福祉サービス利用実態調査

ア 障害種別の記載について、「障害」を省略し、各種別名称で表記します。

(例) 身体障害 → 「身体」、発達障害 → 「発達」

イ 障害種別が重複する場合は、それぞれの障害種別で集計しています。

ウ 表中の障害種別の合計については、回答があった有効回答数を記載しています。

エ 「全体」の「合計」は、回収した292人分のうち、回答数を集計したものであり、障害種別の合計ではありません。